

障害福祉サービス事業所の特色ある 取り組みをご紹介します

長崎県CSR通信
～ 第118号 ～

需要の規模が小さかったり潜在的であるため、商品やサービスの提供・供給が行われにくい産業分野を「ニッチ産業」又は「すきま産業」といいます。五島市には、このような分野の事業を展開している就労継続支援B型事業所があります。

今回は、「五島あすなる作業所」工場長の 土岐寛志 様 にお話を伺いました。

～ 離島の事業所が始めたお墓参りのお手伝い 五島あすなる作業所 ～

事業所の現況を教えてください？

「五島あすなる作業所は、B型事業所として、当初より製袋事業、製麺事業を行ってきました。利用者は種別では身体・知的・精神の3障害、年齢は特別支援学校卒業後間もない若者から65歳を超えた方と多様です。そこで、利用者の方の作業内容は、各人の障害の軽重、特性、スキルなどを考慮して決めています。また、一般就労を希望する方には、その支援も積極的に行っています。」

製袋、製麺以外の事業は何か行っていますか？

「利用者の方の作業内容の幅を広げることと、利用者の方に支払っております工賃水準を向上させるために、今年7月に新たな事業を立ち上げました。」

事業内容はどのようなものですか？

「お墓参りの代行サービスです。福江島内にご先祖のお墓があるけれど、ご自分でお参りに行くことができない或いは難しい方に代わって、私たちがお墓参りをさせていただくものです。依頼主の方には、実施状況を写真とともに報告いたしますし、お墓の位置が曖昧な場合でも、わかる範囲での情報をいただければ、現地在住の私たちが様々な手段を駆使して捜します。さらに、お墓周りの除草や墓石などの清掃サービスも行っています。」

依頼主の方は、ほぼ島外の方になると思われますが、広報はどのような手段で行っていますか？

「五島あすなる会のフェイスブックなど、ネットを利用した広報がメインです。また、五島出身の人たちが島外各地で開催されている郷土人会へのアピールや、五島市へのふるさと納税で得たポイントでお墓の状況確認を行うサービスなども行っています。」

今後の抱負をお聞かせください。

「始めたばかりで、まだ依頼件数は少ないですが、お盆やお彼岸の時期を中心に、増えてくるものと見込んでいます。ご先祖様や大切な方を思う心はご本人様には遠く及びませんが、地元の私たちが心を込めて、お墓参りのお手伝いをさせていただきます。」



お話を伺った土岐様と五島うどんを使った商品「パラモンちゃんパスタ」。



事業所内の様子
【上段】五島市指定ゴミ袋製造
【下段】五島手延うどん製造

利用者の皆さんが、活気ある中にも黙々と作業をされていました。

「長崎県CSR通信」 電話095-895-2454

FAX095-823-5082

発行 平成27年11月13日 長崎県福祉保健部障害福祉課

バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索

お墓参り代行サービス等の詳細は、下記へお問い合わせください。

NPO法人五島あすなる会 五島あすなる作業所
〒853-0041 五島市籠淵町2176-1

TEL 0959-74-2885

FAX 0959-74-1661